

## 課題シート（ヘルスコミュニケーション）

今日の日付 [ \_\_\_\_\_ ]

あなたのお名前 [ \_\_\_\_\_ ]

あなたの研究科・学部・社会人など所属属性 [ \_\_\_\_\_ ]

あなたの学籍番号 [ \_\_\_\_\_ ]

あなたの電子メールアドレス（質問や照会への返信用） [ \_\_\_\_\_ ]

### 【課題：0613】

- ・この授業は、前半のレクチャーと、後半のグループ学習、そして、グループ別発表後の教員を含む全員からのフィードバックと、教員によるまとめからなります。
- ・グループでは、互選により、司会者とレポーター（記録係を兼ねる）を決めて、学期が終了するまでに、最低1～2回はその役割をする必要があります。
- ・最初に簡単なアイスブレイキングをした後に、以下の課題をとき、1.～6. までの課題の全てについて報告します。

1. 薬の専門家である薬剤師が考えるようには、薬学ケアの実践がうまくいっていないのはなぜですか？（グループのメンバーで、どのような事が問題なのかあぶりだしましょう）

2. 専門家は薬学ケアが必要だと主張していますが、患者・生活者から薬学ケアを実践してほしいという要望がないのはなぜでしょうか？

3. 薬学ケアを向上させるために、今すぐでも実行できることは何でしょうか？

4. 「ケア」とは、どのような意味をもちますか？

5. 「相互理解」という言葉は、なぜ薬剤師と患者（＝生活者）との関係を考える時に使われるのでしょうか？

6. 患者・生活者の自己決定権という課題と、現場での経験における「患者の擁護」とは、どのように関係しているのでしょうか？ この2つはどのように異なっているのでしょうか？

■この課題の出典文献：『薬剤師と薬学生のためのコミュニケーション実践ガイド：患者カウンセリング・服薬指導のスキルを磨く』 Bruce A.Berger [著]；竹内由和訳、じほう、2004年、p.45